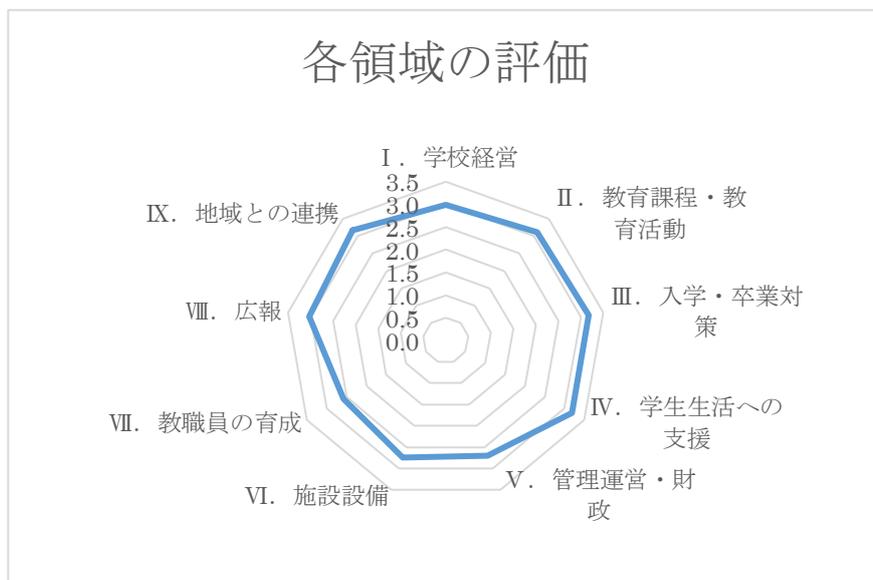


令和元年度 学校運営評価

新潟看護医療専門学校は、教育の質の向上を図り、学校の設置目的を達成するために、教育活動全般について自己評価を行い、改善を行うための学校運営評価を行っています。

学校運営評価は、9領域44項目からなり、「4 良い」「3 適切」「2 やや不十分」「1 不十分」の4段階評価を行っています。

| 領域 | 主な内容 | 項目数 |
|---------------|--|-----|
| I. 学校経営 | 学校の組織運営、組織目標について | 6 |
| II. 教育課程・教育活動 | 教育目標、教育内容、授業や実習について、評価について、学生による授業評価の活用等 | 15 |
| III. 入学・卒業対策 | 入学希望者への対応、国家試験対策、卒業生への支援 | 4 |
| IV. 学生生活への支援 | 就職や進学への支援、経済的支援、健康管理 | 5 |
| V. 管理運営・財政 | 個人情報管理、災害への備え等 | 3 |
| VI. 施設設備 | 学校の建物、設備、バリアフリーへの配慮 | 3 |
| VII. 教職員の育成 | 研修の実施、学会派遣、教員相互の授業参観等 | 4 |
| VIII. 広報 | 広報 | 2 |
| IX. 地域との連携 | 地域との連携 | 2 |



令和元年度の学校運営評価において、「III. 入学・卒業対策」「IX. 地域との連携」の2項目が高評価となった。この2項目については例年高評価となっていることから、本校の強みとして挙げることができる。15年間、地域医療に貢献できる専門職業人を養成すべく培ってきた教育のノウハウ、地域貢献活動等が着実に本校教職員の自信に結びついているのではないかと考える。一方、未だに評価が低い項目としては「VII. 教職員の育成」が挙げられる。教職員の育成においては、各自が外部研修等を利用し日々自己研鑽に努めている。しかし、自己研鑽に努める一方で、互いの習熟度の確認、評価をする体制が完全には整っていないことが課題として挙げられる。教職員の資質を活かす場を提供できるよう環境を整備していくことが求められる。

評価項目の見直しに伴い、これまで低評価となっていた項目が改善されたが、未だに低評価となってる項目があるため、引き続き実情に合った評価項目を教職員一丸となって検討していく必要がある。今後も目的、問題意識を共有し、より良い学校運営に取り組めるよう邁進していく。